

君津市総合計画 前期基本計画（素案）に係るまちづくり 意見公募手続の実施結果について

企画政策部

令和3年12月24日から令和4年1月24日まで意見募集を行ったところ、以下のとおり意見がありました。

1 意見の件数

意見数 39件（提出者数10人）

2 提出方法

持参	10件（1人）	郵送	0件（0人）
Fax	0件（0人）	電子メール	29件（9人）

3 意見の概要及び市の考え方

市の対応区分

対応区分		意見の件数
A	意見をもとに、施策案を修正したもの	9件
B	意見の考え方が施策案に含まれていたもの	30件
C	意見を施策案に反映しないもの	0件
D	その他、施策案に直接関係ないもの等	0件

意見の概要

別紙のとおり

4 結果の公表

- (1) 公表場所：企画課、行政センター、公民館、コミュニティセンター、市のホームページ
- (2) 公表期間：令和4年3月から3か月間

別紙 意見の概要

	該当項目	意見の概要	対応区分	市の考え方
1	1-1 商工業振興	『きみジョブ』については、アプリが開発されていないければ、早急にアプリ開発に取り組むべきと考える。併せて、職種が偏っているように感じた。ニーズの高そうな職種（事務・デスクワーク、軽作業など）の掲載獲得が、早急な課題のように感じた。 また、コロナ禍対策を含め、施策全体的にも、オンライン対応できるものは、窓口対応とオンライン対応、併用できる体制を構築すべきと考える。	B	アプリの開発につきましては、どのような機能・利便性を利用者が求めているのか、利用者の意見を踏まえ、必要性について検討してまいります。 また、職種につきましては近年の傾向として事務職を希望する方が非常に多いため、募集されるとすぐに埋まってしまう、結果として求人の職種に偏りが出来てしまう状況であるため、その他の幅広い業種の働き方や魅力を更に周知していくことで、バランスをとっていきたいと考えております。 オンライン相談対応につきましては、ニーズや費用対効果等も踏まえ検討してまいります。
2	1-1 商工業振興	「① 持続的な経済発展の実現」について、以下のとおり変更を提案する。 (旧) ・市が今後も持続的に経済発展を遂げていくために、市内企業の競争力強化及び事業拡大だけでなく、省エネルギー・創エネルギー・脱炭素に向けても、必要となる設備投資や資金調達等を支援します。 (新) ・市が今後も持続的に経済発展を遂げていくために、市内企業の競争力強化及び事業拡大だけでなく、脱炭素に向けた省エネルギー・創エネルギーに向けても、必要となる設備投資や資金調達等を支援します。	A	御意見をもとに次のとおり修正します。 (旧) ・市が今後も持続的に経済発展を遂げていくために、市内企業の競争力強化及び事業拡大だけでなく、省エネルギー・創エネルギー・脱炭素に向けても、必要となる設備投資や資金調達等を支援します。 (新) ・市が今後も持続的に経済発展を遂げていくために、市内企業の競争力強化及び事業拡大だけでなく、 <u>脱炭素に向けた省エネルギー・創エネルギー</u> に向けても、必要となる設備投資や資金調達等を支援します。
3	1-3 環境共生	「③ ごみの減量化・再資源化の推進」について、以下のとおり変更を提案する。 (旧) ・ごみの分別区分や排出方法を見直すことで、資源化量の向上を図り、ごみの減量化・再資源化を推進します。 (新) ・ごみの分別区分や排出方法を見直すことで、資源化率の向上を図り、ごみの減量化・再資源化を推進します。	A	御意見をもとに次のとおり修正します。 (旧) ごみの分別区分や排出方法を見直すことで、資源化量の向上を図り、ごみの減量化・再資源化を推進します。 (新) ごみの分別区分や排出方法を見直すことで、資源化率の向上を図り、ごみの減量化・再資源化を推進します。
4	1-3 環境共生	施策に賛同すると共に、「電気自動車の購入等に対する補助を行うことで、環境に配慮した設備の導入およびクリーンエネルギーの活用を促進します。」へ記述変更を提案する。併せて、「住宅用省エネルギー設備等設置補助金」の継続実施をお願いする。	A	御意見をもとに次のとおり修正します。 (旧) 家庭用省エネ・再エネ設備の設置や電気自動車の購入に対する補助を行うことで、環境に配慮した設備等の導入を促進します。 (新) 家庭用省エネ・再エネ設備の設置や電気自動車の購入等に対する補助を行うことで、環境に配慮した設備等の導入 <u>及びクリーンエネルギーの活用</u> を促進します。 また、「住宅用省エネルギー設備等設置補助金」につきましても、継続して実施するよう取り組んでまいります。

5	1-3 環境共生	<p>君津の森は木が切れ砂取り場となり、ソーラーパネルが一面にたち、丸裸な山が増えている。君津の水源地には大きな産業廃棄物処理場が作られ、汚染水が流れ出るかもしれない危険に常に晒されている状況である。検査をして汚染水が漏れていたらもう手遅れである。想定外の気象が増えている昨今、大規模な土砂崩れが起きてしまったら奪われた命は戻らない。</p> <p>企業誘致の推進という項目があるが、もっと水と森をしっかりと守る環境保護条例を見直していただきたい。大人の私利私欲のためではなく子々孫々と安心して暮らせるようにしていただきたい。</p> <p>地形や森林保全のエキスパートに入ってもらい、水と森の保全の仕組みを見直していただき、産業廃棄物処理場の二の舞はもう起こらないよう、企業誘致や住宅地整地などの際の環境保護の徹底をお願いする。</p>	B	<p>御意見のとおり市では、今後とも環境保全条例等の環境関連法令に基づき、大規模な工場や廃棄物最終処分場、残土事業場などに対する立入検査等を継続し、市の財産である豊かな水と緑の保全に努めてまいります。</p> <p>また、新たな企業の立地や住宅地の整備などにつきましては、事業者に関係法令を遵守させることはもとより、当該行為が周辺地域の生活環境や自然環境に影響を及ぼすことのないよう指導を行ってまいります。</p>
6	1-4 観光振興	<p>情報発信媒体は、幅広く活用すべきであるが、媒体投稿担当者の情報収集力がやや劣るレベルではないかと感じる。発信者目線では魅力を感じない。</p> <p>受信者・受け取る側の目線で見直し、自身が魅力を感じるかどうかで、情報の価値が変わると思う。対面で相手の顔を見ないと感情が伝わらない、Web 掲載はどれも同じではなく、電話対応の声だけでも感情は伝わる。各媒体においても義務的にとりあえず発信しようというような部分は、見る側には伝わる。</p>	B	<p>御意見のとおり発信者自身が地域を理解し、魅力を感じることは重要であります。</p> <p>「1-4 観光振興 ②観光情報発信の強化」の中には、そのような運営者側の知見の深化や正しいマインドを持つということが含まれているので、このような点を踏まえ、受信者目線に立った情報発信に取り組んでまいります。</p>
7	1-4 観光振興	<p>君津駅に君津で人気のお店（洋和菓子店、パン屋、惣菜屋など）の手土産や君津の農産物（枝豆など）・花卉（カラーなど）、工芸品（雨城楊枝など）等を一堂に集めたお店（アンテナショップ的のようなもの）を作してほしい。</p> <p>電車や高速バスで都心に帰る方、君津から他県等へ訪問する方にとって便利になり、君津の商品を地元民・他県の方に知ってもらえらると思う。</p>	B	<p>地元の方々を中心に JR 君津駅は多くの利用者があり、近年新型コロナウイルス感染症の影響で注目されたマイクロツーリズムの考え方にもあるように、地域の魅力を再発見しようという機運も高まっていることから、御指摘のような取組も有効な魅力発信、観光振興の一つの手段として参考にさせていただきながら、「1-4 観光振興」の各施策を推進してまいります。</p>
8	1-4 観光振興	<p>「きみつ」と題したお土産を作してほしい。</p> <p>単なるクッキーやせんべいに「〇〇に行ってきました」とタイトルをつけるだけでその土地のお土産にしているところもある。観光名所の写真をつけるだけの単純なものでもお土産になると思う。</p> <p>また、鉄鋼企業とコラボし、製造中の厚板を模したクッキーとか、鋼管を模して巻いたラングドシャとかを君津の洋和菓子店に作っていただくというのはいかがでしょうか。</p>	B	<p>域内の観光消費額を高め、地域経済の活性化を図るためには、「食」への取組は依然重要であると考えております。</p> <p>「1-4 観光振興 ①観光資源の磨き上げ」の中には、そのような「食」への取組の促進も含まれておりますので、引き続き、関係団体や市内事業者と協力しながら、取組を進めてまいります。</p>

9	2-3 障害者福祉	<p>車椅子利用者は、通勤時間帯の満員電車では、一度、押し出されてしまうと、再乗車するのに、数本、電車を見送らないといけないことが日々発生し、予定時間に出社できず、ほぼ毎日、出社遅延連絡をせざるを得ない状況と聞いている。</p> <p>障害者の方の交通公共機関の利便性、アクアラインを使った福祉サービスでの移動の利便性を実現できたら、一定ラインの生活環境を保持できる君津市としては、他自治体との差別化ができ、大いなる魅力を打ち出せると感じる。</p> <p>福祉タクシーなどを通じて、通勤・通学利用として、サービス支援価格で利用できる体制があれば、より君津市への魅力を感じていただけたらと思う。</p>	B	<p>障害者差別解消法では、障害のある人への合理的配慮が求められておりますので、「2-3 障害者福祉」や「4-6 移動」の各施策を推進し、障害のある方への理解や地域共生社会の推進を図ってまいります。</p>
10	2-5 スポーツ推進	<p>大型スポーツ施設が本市の中心地にあると、さらにスポーツ人口が増える可能性があると思う。</p> <p>現在の君津メディカルスポーツセンターは、バス等が活用されているが、中心地からやや遠いイメージがぬぐえず、貞元地区あたりにあると良いと思う。</p> <p>また、スポーツ団体は固定していると感じている。スポーツジム、プール、エアロビ、ヨガ等、個々でスポーツに親しむ総合スポーツセンター的なものがあるとよい。同じ場所にあるということが重要である。</p>	B	<p>近年、東京2020オリンピック・パラリンピックにおいて日本人選手が活躍し、若者を中心に人気の高まりを見せる都市型スポーツを含め、市内でもたくさんの方が様々な運動・スポーツに取り組まれていると認識しております。</p> <p>また、市民の皆様がスポーツ・レクリエーション活動に触れる機会を増やし、スポーツ人口の増加に繋げるためには、環境の整備が重要な要素であると考えております。</p> <p>今後も「2-5 スポーツ推進」の各施策を推進し、市民の皆様の声を聴きながら、多様化が進むスポーツに関するニーズの把握に努め、市民が身近でスポーツに親しめる環境づくりを進めてまいります。</p>
11	3-1 子育て	<p>一人親家庭が増える一方で、突発事項発生時等に、留守番の出来ない子どもを、預かってくれる施設があっても良いのではと感じる。受け入れ許容によるが、2～3時間の短時間から、1泊単位で、気軽に預けられたら、親自身の心の余裕につながり、児童虐待などの抑制になるかと思う。併せて、頻繁な預け入れは、育児放棄などの早期発見になると感じる。</p> <p>また、子育てサポートに限らず、それぞれの相談支援体制について、直近のコロナ感染拡大の影響を含め、『一人で悩まず』『まずは相談窓口に連絡して』というような、窓口を開設することが多くなってきているが、「体制を整えています」というようなところが否めない。悩みを抱えてるよりは、誰かに相談して、共有して、共感してもらうことで、心が落ち着くこともあるかと思うが、現実的な解決には至っていないのが現状だと思う。</p> <p>相談後の、現実的な解決に向けたサポート体制の構築によって、『頼れる支援制度』という魅力を作り出せるのではないかと感じる。</p>	B	<p>御意見のとおり市の子育て短期支援事業及びファミリーサポートセンター事業等、子どもを預かる事業を引き続き推進してまいります。</p> <p>また、こども家庭相談室等の相談機関が行う相談支援については、相談者が抱える悩みに寄り添いつつ、必要に応じて関係課や関係機関と連携することにより、問題の解決に資するよう努めてまいります。</p>
12	3-2 子育て	<p>運動・体力維持については、校庭や公園などでの活動について、地域住民からの『うるさい』というクレームが入るとのことについて、理解に苦しむ。</p> <p>現在のコロナ禍で、オンライン授業なども、今後の課題の一つかと思うが、学校内での端末使用は、学校設備の中のネットワーク環境の整備で、</p>	B	<p>今年度、各学校においてオンライン学習を実施しました。</p> <p>御意見のとおり自宅のネットワーク環境に関して様々な改善点ができたところです。「3-2 学校教育 ③新しい時代に必要な資質・能力の育成」を推進するとともに、GIGAスクール構想について、今後の国の動向を注視し、自宅の学習環境をよりよく整えることができる</p>

		対応できるかと思うが、自宅からのオンライン体制になると、自宅のネットワーク環境の問題が、発生すると思われる。 親がテレワーク、複数の兄弟姉妹がオンラインになると、自宅環境整備にも、一定ラインの配慮をする必要があるのではないかと考える。		よう取り組んでまいります。
13	3-2 学校教育	「できる」が漢字(出来)になっている部分がある。	A	御意見をもとに該当箇所を「できる」に修正します。
14	3-2 学校教育	「子育て」という言葉について、素敵な言葉だが、少し耳慣れない言葉なので、その意味等の説明があるとさらに分かりやすくなると思う。	A	御意見をもとに次のとおり用語集に説明を追加いたします。 (追加) 子どもというのは本来、自分で吸収して成長しようとする力を持っており、周囲はその力をサポートし、成長の手助けをしてあげることが大切であるという趣旨の考え方のこと。
15	3-2 学校教育	「(6) 施策の展開」の名称について、以下のとおり変更を提案する。 (旧) ④脱炭素につながる環境教育の推進 (新) ④持続可能な社会の実現に向けた環境教育の推進	A	脱炭素に係る施策のため御意見をもとに次のとおり修正します。 (旧) ④脱炭素につながる環境教育の推進 (新) ④脱炭素社会の実現に向けた環境教育の推進
16	3-2 学校教育	登下校や放課後の安全に関する対応などについて、地域住民や保護者とより一層連携して対応していくことを、入れた方が良く考える。	A	御意見をもとに次のとおり「3-2 学校教育 ⑤より良い学校教育の整備」に追加します。 (追加) 学校を支援する人材を確保し、地域と学校が連携・協働して、子どもたちの成長を支えます。
17	3-2 学校教育	施策に賛同すると共に、「老朽化が進む市内小中学校の施設整備および防災機能の強化を進めます。」への記述変更を提案する。	B	前期基本計画の「国土強靱化地域計画編」に記載しているとおり、君津市総合計画と君津市国土強靱化地域計画との整合を図り、将来ビジョンの実現と地域の強靱化を一体的に推進していきます。 小中学校の施設整備にあたっては、防災機能の強化も含めて検討してまいります。
18	3-2 学校教育	学校施設におけるトイレの様式化率の目標値R8年度までに60%となっているが、より良い学校環境整備のため、引き上げを希望する。	B	トイレの様式化については、老朽化した学校施設の改修等に併せて計画的に実施し、御意見を踏まえ目標値を超える様に、様式化率の向上に取り組んでまいります。
19	3-3 生涯学習	君津の図書館は充実度、職員の対応など近隣他市に比べ自慢できる施設である。今後は電子書籍の充実をお願いしたい。新刊や人気作家のものもどんどん入荷していただきたい。	B	図書館が市民の知の拠点となるよう資料やサービス、快適な読書環境の提供に取り組んでまいります。 また、令和3年度より開始いたしました電子書籍サービスにつきましても、御意見のとおり今後も市民の課題解決に役立つよう資料の充実を図ってまいります。
20	4-1 防災・減災	施策に賛同する。併せて【概要】に「避難所・公共施設等に停電対応型自立・分散型エネルギー整備を促進する。」を追記することを提案する。	B	前期基本計画の「国土強靱化地域計画編」に記載しているとおり、君津市総合計画と君津市国土強靱化地域計画との整合を図り、将来ビジョンの実現と地域の強靱化を一体的に推進していきます。 施設整備にあたっては、自立・分散型エネルギーの導入も含め、検討してまいります。
21	4-2 道路	通学路における歩行空間の安全確保を含めた、需要の高い道路の整備は、必要かと思うが、重要度として、そこまで高くない道路の拡張工事まで、早急な計画に含まれているのは、財源確保に苦慮する施策では、共感は出来かねる。 各種方法を検討し、適正に見極めていただきたい。	B	現況の利用状況のほか、地域性など総合的観点から優先順位や整備内容を検討し「4-2 道路 ① 安全で快適な道路環境の実現」に取り組んでまいります。

2 2	4-5 防犯・消費生活・交通安全	防犯カメラについて意外に少ないという感想である。 通学路もあり交通事故も多いほほえみ通り・いやさか通り（県道 158 号・市道の交差点付近）や、その近傍の県道 225 号と君津青堀線の大きな交差点（御霊神社付近）に付けていただきたい。	B	防犯カメラは、犯罪発生の抑止効果が期待できることや、事件・事故の早期解決に繋がるなど、警察による捜査等に大きな効果を発揮するため、警察との連携により有効な設置箇所の選定を行い、計画的な設置に努めてまいります。
2 3	4-5 防犯・消費生活・交通安全	「(5) 市民・地域・事業者等が取り組んでいくこと」について、以下のとおり変更を提案する。 (旧) ・持続可能な生産・消費を心掛けます。(企業、市民) (新) ・持続可能な生産・消費を心掛けます。(事業者・市民)	A	御意見をもとに次のとおり記述を変更します。 (旧) ・持続可能な生産・消費を心掛けます。(企業、市民) (新) ・持続可能な生産・消費を心掛けます。(市民、事業者等)
2 4	4-6 移動	若い世代が移住に躊躇するのは、教育環境というのがあると思う。市の高速スクールバスを作って対岸の東京や神奈川県に学校に子供達を直接送り届ける、というのはいかがか。有名校に通わせたい、しかし君津では遠くて通えない、ということが大いにあると思う。大学生の高速バス割引は大変助かっていると思うので、さらに便利になれば若い世代の君津への移住も増えると思う。	B	市では、市内小中学校に昨年度導入した一人一台タブレット端末などをより一層活用するため、全教室へ大型提示装置を配備するなど、ICTを活用し、教育格差の生じない環境整備を進めているところです。今後も教育施策を研究しながら、よりよい教育環境の充実を図ってまいります。 また、いただいた御提案につきましては、今後の施策を展開する上での参考とさせていただきます。
2 5	4-6 移動	君津バスターミナルは、規模が小さいので悩むところであるが、待合室にコーヒーショップなどの喫茶スペースがない。30 分程度、待つ場合があるので、できれば、喫茶スペースがあるといいと、常々感じている。 四季折々の特産物（いちごやブルーベリー）などを使ったメニューで、特産品のPRの一つになるかと感じる。	B	現在、バスターミナルの待合室スペースについては、限りがあることから、屋外へ自動販売機を設置しているところです。 バスターミナルに限らず、御意見を参考に各種施策を進め、特産品等を通じたPRを図ってまいります。
2 6	4-7 都市創造・住まい	施策に賛同する。併せて「4-7 都市創造・住まい (1) 概要」へ災害に強いまちづくりの視点の追記をお願いする。	B	前期基本計画の「国土強靱化地域計画編」に記載しているとおり、君津市総合計画と君津市国土強靱化地域計画との整合を図り、将来ビジョンの実現と地域の強靱化を一体的に推進していきます。 また、「4-1 防災・減災」の各施策を推進し、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。
2 7	4-7 都市創造・住まい	大道沢緑道について、危険ではないかと思える場所が二件ある。 (1)ふれあい通り、(2)鉄塔道路と二箇所交わる場所である。 (1)についてはかなり交通量も多く、途切れた間に横断することになり、自転車に乗った小学生もよく通っている。 (2)はさほど交通量はないものの横断歩道であるにもかかわらず一旦停止どころか速度落とすこともなく走りぬけている。二件とも危険と考える。よって手動式信号又は明確な歩道であるとドライバーに明確に知らせる工夫をお願いしたい。 内みのわ運動公園と大道沢緑道は 127 号線道路で遮断されている。運動公園と大道沢緑道と繋げることで疎遠となっている運動公園にも行く機会も増えると思うので、一直線に通れる歩道の設置を考えていただきたい。	B	(1)ふれあい通りと大道沢緑道の交差点は、君津警察署に信号機等の設置を要望いたしましたが、カーブであることなどから難しいとの回答を得ております。 (2)鉄塔道路との交差点で横断歩道の設置されている場所は、御意見を踏まえ、ドライバーや公園利用者に向けた注意喚起看板の設置を検討いたします。 また、御意見のとおり、内みのわ運動公園と大道沢緑道を繋げることで、利便性や魅力の向上になると考えますが、主要幹線道路である国道 127 号を通過するため、大規模な整備となることから非常に難しいと考えております。

28	5-4 公共施設 マネジメント	施策に賛同すると共に、災害対策も併せて推進することを提案する。	B	前期基本計画の「国土強靱化地域計画編」に記載しているとおり、君津市総合計画と君津市国土強靱化地域計画との整合を図り、将来ビジョンの実現と地域の強靱化を一体的に推進していきます。 公共施設の再整備にあたっては、災害対応時のことも想定した上で、推進してまいります。
29	5-2 地域コミュニティ	テレワークが普及する中、自宅で、テレワークスペースを確保できない方向への、サテライトオフィス、コワーキングスペース、シェアオフィスの空間を、市として提供できたら、様々な出会いの場ともなり、知見の共有、地域コミュニティの活性化などに、繋がるのではないかと感じる。	B	御意見のとおり公共施設を活用したサテライトオフィスやコワーキングスペースについては、地方創生や働き方改革に有効な手法と考えております。 「第2 戦略的プロジェクト D デジタル技術を活用して新たな価値をつくる」等を推進し、テレワークを実施できるスペースの提供に取り組んでまいります。
30	5-5 シティプロモーション	きみびよんは10年ほど前、人気で他市から買いに来る方もいたようである。キャラクターとしてとてもかわいいと思うので、もっときみびよんグッズを作って購入しやすくした方がよいと思う。	B	御意見のとおり君津市マスコットキャラクターきみびよんを活用した、「5-5 シティプロモーション」の各施策をより推進してまいります。
31	5-6 行財政 マネジメント	インフラ更新の一つに、PBX（電話交換機）も老朽化しているのではないかと。 これからは、クラウドPBX（電話交換機）の時代である。	B	御意見のとおり、PBX（電話交換機）等の設備機器についても老朽化等により更新する必要があるため、更新のタイミングでクラウド化も含め、費用対効果などを踏まえ総合的に検討してまいります。
32	5-6 行財政 マネジメント	市職員の育成について、市民目線での対応力、担当個人ではなく組織としての対応を、今一度、見直し、必要に応じて、適正な指導が求められるものと感じる。	B	全国的にも若手が多い本市職員のそれぞれが持っている潜在能力を最大限に引き出し、御意見にありました市民目線での対応力はもちろんのこと、めまぐるしいスピードで変革し続ける社会に対応し、自ら課題を見つけ解決まで導ける人材の育成を推進してまいります。
33	5-6 行財政 マネジメント	君津市の運営は、君津市職員・市議でするものではないと承知している。君津市に関わる全ての人たちと共に作り上げることが理想的と考える。今回のように、関係者への意見を求め、知見・見解を共有してもらうことで、想定していなかったシナリオへと導いてもらうことにより、より良い環境構築につながると考える。	B	総合計画の策定過程においては、新型コロナウイルス感染症が流行するなかにおいても、オンラインによる君津市民会議や中高生を対象にしたきみつ未来ワークショップ、各分野に関係する団体ヒアリング、市内9つの会場で実施したタウンミーティング等、「対話」を重視し、オール君津で策定を進めてきました。 御意見のとおり、市政運営においても君津市に係る方々と共に進めてまいります。
34	5-6 行財政 マネジメント	DX 関連については、君津市先導で、君津エリア、もしくは南房総エリア含む、総括で取り組むことにより、想定よりも規模の大きい開発が見込めると同時に、全体の利便性向上へとつながれると思う。 また、コロナ禍で、市窓口・施設の、混雑状況・利用状況がリアルタイムで確認できる、アプリケーションがあると良いと感じる。既に、木更津市では『らざナビ』というアプリを構築し、市民課などの窓口の利用状況が、確認できるようになっている。感染対策を兼ねて、早急に構築するべきではないかと感じる。	B	御意見のシステムやアプリケーションの開発及び利用については、広域で実施することにより、市民の利便性の向上、行政の効率化に資すると認識しておりますので適宜検討してまいります。 また、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されている中、混雑状況の可視化は3密対策として有効と認識しております。今後、「5-6 行財政マネジメント ④ デジタル化による住民サービスの向上及び行政経営の効率化」の中で、電子申請等の「行かなくていい市役所」の推進と併せて検討してまいります。

35	国土強靱化地域計画 編	<p>施策に賛同する。併せて「表 君津市におけるリスクシナリオ及び施策分野」の「4-6 移動」、「4-7 都市創造・住まい」に関連項目を追加することを提案する。</p>	<p>御意見をもとに「表 君津市におけるリスクシナリオ及び施策分野」の「4-6 移動」、「4-7 都市創造・住まい」に関連項目を追加します。</p> <p>(追加)</p> <p>「4-6 移動」へ追加する項目</p> <p>「1-5 大規模な土砂災害等による多数の死傷者の発生」、「2-1 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に係る物資・エネルギー供給の停止」、「2-2 多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生」、「2-5 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺」</p> <p>「4-7 都市創造・住まい」へ追加する項目</p> <p>「4-1 防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止」</p>
36	総合計画全体に関すること	<p>国土交通省が示した日本国土のグランドデザインから、2050年予想の人口動態を日本地区に視覚化すると改めて人口減少、少子高齢化問題に驚いた。ある大学教授は人口が地域サービスにもたらす6つの要素①安全②繁栄③機会④快適⑤多様⑥公正で「地域厚生」という表現をしていた。</p> <p>人口問題は、過疎になることで「地域厚生」が小さくなり、増加・集中で大きくなることで、同時に非効率な部分も出てきて、①～⑥の要素で逆に小さくなるものも出てくると言っている。</p> <p>近未来の日本は、都市での人口増加により「地域厚生が低下」する地域と、人口減少地域の「地域厚生が機能しなくなる」過疎地域となるのが問題だと理解した。日本の選択としては、人口減少の中、都市集中型より地方分散型を選択し、地方での「地域厚生を維持」するために、地域での人口を適度に維持することが必要だと感じている。そのためには地域の中小企業者の役割が大きく、地域行政と中小企業家が共に行動を起こすことが必須だと感じている。</p>	<p>御意見のとおり、人口の維持はまちの活性化を図るために重要な要素だと認識しており、令和3年9月に策定した君津市総合計画 基本構想では「持続可能なまちづくりのために、転出抑制・転入促進を図るとともに、関係人口を拡大し、つながりの連鎖による更なるまちの活性化を図る」としております。</p> <p>この基本構想の実現のためには、御意見のとおり中小企業の活性化も重要な要素の一つだと考え、「1-1 商工業振興 ③地域を支える事業者の経営力強化」等の施策を推進するとともに、計画期間中に特に戦略的・重点的に取り組む「戦略的プロジェクト A安心して働ける環境をつくる」を位置づけ、まちの活性化に取り組んでまいります。</p>
37	総合計画全体に関すること	<p>大学教授の講義において、1990年代から米国の地方都市、コロラド州リトルトン市（人口約5万人）で実施された活動としてエコノミックガーデニング（EG）が紹介された。</p> <p>また、千葉県でも山武市で行われているEGも紹介された。従来の地方都市で行われる企業誘致活動とは対照に、地元の企業が活躍する環境を創出するための企業支援活動がEGであり、日本の地域分散型での地域厚生を維持する方法だと感じている。</p> <p>その結果、リトルトン市では10年間で市税収が190%増、就業者数が136%増加している。その後、日本各地でEGの取組が始まったが、日本のEGは、世界からみても独自の①中小企業振興条例（理念）があり、②EG（自治体の支援や戦略・枠組み）と③そこに地域で事業を変革させる事業者（やる気のある）の三位一体となって取組まれ、地域活性が実現している例を勉強した。君津市にも地域産業振興条例が2014年に施行され、2019年に見直しをされたが、EGのような事例とはほど遠いように感じられ2017年にEGのキーワードは情報であり、以前の「土地本位制」から「情報本位制」への経済転換を地域から行っていく必要があると感じる。</p>	<p>御意見のエコノミックガーデニングという経済活性化策につきまして、本市も商工団体や金融機関等の関係団体と連携した支援体制の構築に努めており、重なる部分もあると考えております。</p> <p>また、米国で実施されている情報を提供することによって経済活性化を図るような取組につきましては、手法のひとつとして参考にさせていただきます。</p>

38	総合計画全体に関すること	<p>「スマートニッチ」とは「地域経済にあって、規模は小さくとも独自の技術やノウハウを有し、優れた経営を行っている企業」を指す概念である。企業の事業規模や業種には依存せず、主観概念であり、第三者からの評価でもないという事である。君津市は県内でも広大な面積があり、沿岸部には世界有数の企業から、それを支える企業群と商業地がある。</p> <p>また、中山間地域には米作農家を中心とした農家から畜産業者、そして亀山・三島地域を中心とした自然豊かな観光地がある。それぞれ多様な事業者が「自社がスマートニッチである」と信じ、行動することから始め、事業者と行政でEGの環境を整えると同時に、まず自社がスマートニッチになるために自社分析を行い行動することが大事であると感じている。</p>	B	<p>御意見のとおり、事業者自らが「独自の技術を有し、優れた経営を行っている企業」という意識を持ってもらい、それを行動に移していただくことは大変重要だと考えております。</p> <p>施策としては「1-1 商工業振興 ③地域を支える事業者の経営力強化」において、専門のコーディネーターによる経営のアドバイス、資金融資制度により経営支援を実施しており、御意見いただいた概念も念頭におき、中小企業の育成に取り組んでまいります。</p>
39	総合計画全体に関すること	<p>指標の現状と目標値の差分の無い（4年計画値としての値が低い）施策が多く、現状タスクに肉付けをし、尤もらしく計画概要に盛り込んだというように感じた。</p>	B	<p>指標については各施策分野に記載している概要を達成するために、過去からの推移や社会環境の動向等を勘案したものです。</p> <p>今後、毎年度の予算編成や評価を行いながら目標値の達成に向けて、御意見を参考に取り組んでまいります。</p>